

第6回洞爺美味しい物コンテスト（ブエアフーズとうや主催）が、1月20日洞爺総合センターで開かれ、町内の主婦や高校生の手づくりによる地場産品を使った漬物、惣菜、スイーツ33点が出品されました。

最優秀賞には、洞爺高校生が作った「長芋とクリームチーズのタルト」が選ばれました。

その他の成績は次のとおり。（敬称略）

優秀賞 桜大根漬（野田安子） 準優秀賞 赤カブの酢物（星野光子）・わさび漬（木須ゆり子） 残念賞 完熟



真剣な表情で審査する審査員ら

トマトジュース（大西マサ子）
特別次点野菜七色漬村上愛子）

美味しい物コンテスト 洞爺高校生初の最優秀賞

老人クラブの芸達者が集合 新年演芸交流大会

老人クラブ連合会（鈴木正直会長）が主催する、新春恒例の新年演技交流大会が、今年も1月21日洞爺湖文化センターで開かれ、町内の18老人クラブから約250人が集まり、旧交を温めあいました。

楽木忠副会長の「高齢者みんなで支えあい、一層の交流を深めましょう」との挨拶で開演。オープニングは、「夜明け」を合唱した平均年齢80歳のいきいきクラブの皆さん（虻田3区）で、引き続き午前と午後に分かれて33の演芸が披露されました。

蝶ネクタイとブラウスで衣装を揃え、凛々しく美声を聞かせる合唱やピンクの着物も艶やかな若々しい踊りなど、趣向凝らしたプログラムで参加者を楽しませていました。



元気の歌声を響かせた合唱

新聞紙で作ったエコバッグ大人気 洞爺高校生販売実習実施

環境教育に

重点を置

いている洞

爺高校（吉村恭

子校長）の2

年生7人が、

1月28日町内

のスーパーウ

ロコ虻田店で、

環境を意識して

作られたエコ

バッグ、廃油石

鹼、地元産素

材のジャム、マ

ドレーヌ、ク

ッキーなど6

品を販売し、時

間内で完売する

商品がでるほ

ど盛況でした。

実演コーナーでは、新聞紙のエコバッグ作りが行われ、新聞紙を5枚重ねてボンドで接着するだけの簡単なもので、容量は約3kgまでは大丈夫だそうです。「家で作って近所の人に配りたい」と話す人もいました。



人気の新聞を利用したエコバッグ作りのコーナー

ホタテの更なる消費拡大を目的に北海道ほたて漁業振興協会室蘭支部から冷凍貝柱80gが、当町の学校給食センターに無償提供され、1月28日の町内小中学校の給食に、虻田地区はホタテのシチュー、洞爺地区はホタテのステーキとして出されました。

とうや小学校（伝法満校長）の3年生のクラスでは、食前に担任の水戸ちひろ先生から噴火湾の場所の説明があり、藤川知子栄養教諭は、生きた貝付きのほたてを見せてホタテについて話をしました。



おいしそうにホタテをほおぼる児童ら

児童らは、本来の味を味わってもらおうと、生の貝柱をソテーしただけのホタテステーキをフォークとナイフを使い、おいしそうにほおばっていました。

地元特産ホタテが学校給食に
道ほたて漁業振興協会が町に80キロ無償提供

まちのわだい